【投資信託】重要情報シート（個別商品編）

三井住友信託銀行

1 商品などの内容（当社は、組成会社などの委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	**世界フード関連株式オープン（愛称：スマートフード）**
組成会社（運用会社）	野村アセットマネジメント株式会社
販売委託元	野村アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	世界各国（新興国を含みます。）の食料関連企業の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。ファンドは、ESG※を投資対象選定の主要な要素としており、交付目論見書の「ファンドの目的・特色」にその詳細を記載しています。※ESGとはEnvironment（環境）、Social（社会）およびCorporate Governance（企業統治）の総称です。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	組成会社（運用会社）： ●この商品は、中長期的な資産の成長を積極的に目指したい方で、同種の商品に対する知識や投資経験があり、もしくは説明を受け商品性をご理解いただける投資家を主に念頭において組成しています。 ●この商品は元本割れリスクを許容でき、積極的な運用を考える方に適しております。なお、その他の方が、ポートフォリオの一部として投資する場合は、投資目的などに応じて販売会社などにご相談ください。 当社（販売会社）：上記を踏まえ、過去の運用実績に基づく以下のファンドリスクもご参考にご購入をご検討ください。 〈ファンドリスク（2023年9月末現在）〉 1 / 2 / 3 / **4** / 5 / 5＊ 小 ← TOPIX → 大 （注）（株）QUICKがファンドの価格変動リスクをTOPIX（東証株価指数）との相対評価を6段階で表したものです。詳細は裏面に記載のQUICKファンドリスクをご参照ください。 ●当ファンドは、運用で得た利子、配当などや値上がり益を再投資することによって、複利効果による中長期的な資産の成長を目指す商品です。そのため、定期的な分配金のお支払いを抑制します。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

右のようなご質問があればお問い合わせください。

①あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
②この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
③この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2 リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	●株価変動の影響を受けます。特に投資対象に含まれる新興国の株価変動は先進国以上に大きいものになることが予想されます。また、ファンドは、特定のテーマに絞った株式に投資を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合や、より幅広いテーマで株式に分散投資した場合と比べて基準価額が大きく変動する場合があります。 ●原則として為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を受けます。特に投資対象に含まれる新興国の通貨の為替変動は先進国以上に大きいものになることも想定されます。 ●ファンドは、投資対象銘柄のESG特性を重視してポートフォリオの構築を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合や、より幅広い銘柄の株式に分散投資した場合と比べて基準価額が大きく変動する場合があります。
〔参考〕過去1年間の収益率	6.0%（2023年8月末現在）
〔参考〕過去5年間の収益率	平均10.9%　最低-16.7%（2020年3月）　最高58.2%（2021年3月） （ファンドは2019年1月設定のため、2020年1月～2023年8月の各月末における直近1年間の数字）

※損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「投資リスク」、運用実績の詳細は【交付目論見書】の「運用実績」に記載しています。

右のようなご質問があればお問い合わせください。

④上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
⑤相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3 費用（本商品の購入または保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用（販売手数料など）	〈1万口あたりの金額〉 お申込金額（手数料込み）に応じ、基準価額に対して以下の申込手数料率を乗じて得た額 **【お申込金額】** / **【申込手数料率】** 1,000万円未満 / 3.30%（税込） 1,000万円以上1億円未満 / 2.75%（税込） 1億円以上 / 2.20%（税込） ●左記の申込手数料率を上限とします。ただし、申込手数料割引サービスなどを別に定める場合はこの限りではありません。
継続的に支払う費用（信託報酬など）	●純資産総額に対して年率1.848%（税抜1.68%）以内。 ●その他の費用・手数料などが実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限額などを表示することができません。

➡ 裏面も必ずご確認ください

運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。

※上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続・手数料等」に記載しています。

右のようなご質問があれば
お問い合わせください。

⑥私がこの商品に○○万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
⑦費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4 換金・解約の条件(本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります)

- この商品の償還日は2029年1月26日です。ただし、期間更新や繰上償還の場合があります。
- この商品に解約手数料はありませんが、解約した際に発生する有価証券売買コストなど、残存受益者への影響を低減する目的で基準価額に0.3%を乗じて得た額の信託財産留保額を換金する口数に応じてご負担いただきます。信託財産留保額は、信託財産内に留保されます。
- ファンドには申込不可日があり、当社の営業日であっても、申込不可日には換金ができません。その他、取引所などにおける取引の停止などの場合などには、換金ができないことがあります。

※詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続・手数料等」に記載しています。

右のようなご質問があれば
お問い合わせください。

⑧私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

- 信託報酬のうち、組成会社から年率0.825%(税抜0.75%)以内の販売会社報酬をいただきます。これは購入後の情報提供、運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続きなどの対価です。
- 当社は、この商品の組成会社との間で資本関係などの特別の関係はありません。
- 当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※利益相反の内容とその管理方針については、当社ホームページの「利益相反管理方針(概要)」をご参照ください。
https://www.smtb.jp/general/management

右のようなご質問があれば
お問い合わせください。

⑨あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6 租税の概要(NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください)

- 分配時:配当所得として課税されます(普通分配金に対して20.315%)。
- 換金(解約)時および償還時:譲渡所得として課税されます(換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%)。
- 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法などにより異なる場合があります。法人の場合は異なります。
- 税法が改正された場合などには、税率などが変更される場合があります。税金の取り扱いの詳細については、税務専門家などにご確認されることをお勧めします。
- この商品の当社での取り扱いは以下の通りです。

NISA成長投資枠	×	NISAつみたて投資枠	×	iDeCo	×

(2024年3月現在)

※詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続・手数料等」に記載しています。

7 その他参考情報(契約にあたっては、当社Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください)

- 販売会社(当社)が作成した「契約締結前交付書面」および組成会社が作成した「交付目論見書」

https://fwg.ne.jp/fund/services?_ControlID=TS25Control&_PageID=TS25503&_ActionID=LatestProspectusPdf4&compCd=AVF&tsnKyukiCd=01311191&reportType=TK

※PDF形式でまとめて掲載しています。

- 質問事例に関する回答は、別紙にまとめております。こちらよりご確認ください。

https://www.smtb.jp/-/media/tb/personal/saving/investment/keyinformation/pdf/qa.pdf

【QUICKファンドリスク】ファンドの価格変動リスクをTOPIX(東証株価指数)との相対評価を6段階(1,2,3,4,5,5*)で表したものです。ファンドの過去3カ月、6カ月、1年、2年、3年、4年、5年の各期間の標準偏差とTOPIXの標準偏差との対比を平均して評価したもので、4カ月以上の運用実績のあるファンドを対象としています。ファンドのリスクの大きさ(標準偏差の値)そのものを表すものではございません。

【QUICK提供情報　ご利用上の注意】本情報は、投資判断の参考としての情報提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的にしたものではありません。本画面および本情報に関する著作権を含む一切の権利は、三井住友信託銀行株式会社、株式会社QUICKまたはその提供元(「情報源」)に帰属します。本情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。本情報は過去の実績に基づくものであり、将来の実績を保証するものではありません。
本情報を利用することによって、または、利用できないことによって生じたいかなる損害についても、三井住友信託銀行株式会社、株式会社QUICKおよび情報源は、一切の責任を負いません。本情報は、閲覧者ご自身のためにのみご利用いただくものとし、有償、無償を問わず、第三者への提供は禁止します。また、本情報の内容について、蓄積、編集加工、二次加工を禁じます。

投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。

J80083010-05(2024年3月作成)